



山形大学
Yamagata University

私が選んだ就職先の決め方 - 米国の大学院生が考えた基準 -

山形大学 学術研究院 教授（法人本部）

藤原 宏司

2024.12.19

授業コード：79570 仕事の流儀

自己紹介：何をしている人？

■ 山形大学のIR (Institutional Research) 担当者

→ クライアントが必要としている情報を、収集・可視化・分析して提供している人

例1 : [OIRE Power BI Report](#) (公開レポート)

例2 : [データで見る山形県](#)

■ 山形大学IR担当者向け実践プログラムのディレクター

- ・ 履修証明プログラム&文部科学省BPプログラム

■ みなさんの学生番号の仕組みを変えた人

- ・ 2017年4月から (僕が着任したのは、2016年8月)

米国における就職活動：前提条件

■ 新卒一括採用という文化は無い

- 新卒（Entry Level）でも勤務経験が必要
→ 長期有給型インターンシップの重要性

■ 専門職採用（ジョブ型採用）

- 総合職や一般職としての雇用は無い → **人事異動は基本無い**
- 大学で「**何を勉強したのか**（専攻）」が重要
- 就職を見据えて「**複数専攻**」や在学中に「**専攻を変える**」学生もいる（米国の大学では可能）
- 給料は**採用の難易度**で決まる
→ 大学教員も同じ（専門によって給料が違う）
- 同一労働同一賃金

■ 【雑談】履歴書：日本の履歴書は、米国基準だと違法

学生が就職活動をスタートする時期

- 卒業が「ほぼ」確定した頃
- 米国大学の教員の考え方
 - 重要なのは、学生が「**学ぶべきことを学んだか**」
(就職が決まったことと単位を出すことは関係が無い)
 - **4年で卒業させることにこだわっていない**
(学生、教員、社会、etc.)
- 雑談：米国大学の卒業式はいつ行われる？
- 雑談：米国大学の学部には「在籍年限の上限」が無い
- 雑談：米国大学のキャリアサポートサービス

私が選んだ就職先の決め方：状況整理

■ 当時の状況：大学院博士課程修了直前

- ・ 専攻分野：統計学（データ分析）

■ 卒業後の進路：日本に帰る vs. 米国で働く

- ・ 悩んだ末に「米国で働く」ことを選択
- ・ ここで初めて留学生オフィスに行き、米国で働く上で必要な条件等を調べた

■ 注意：

今日紹介する内容は、あくまでも一般的なケースです。米国の移民法は複雑なので、この内容が万人に当てはまる訳ではありません。

米国で合法的に外国人が働くには

留学生が米国内の大学／大学院を卒業した場合、

1. 「就労先が専攻分野に関連している」
という条件で、就労許可を**12ヶ月**間貰える
→ これを「Practical Training」といいます
2. さらに、専攻が**STEM分野**だった場合、
17ヶ月の延長許可（← 当時）が貰える
 - STEM = **S**cience, **T**echnology, **E**ngineering and **M**athematics（科学・技術・工学・数学）
 - 統計学はSTEM分野
 - 現在は延長期間が**24ヶ月**

米国で合法的に外国人が働くには (contd.)

3. 「Practical Training」終了後も働きたい場合は、**労働ビザ**や**永住権**を取得する必要がある

- 一般的には、労働ビザ → 永住権の順
- 労働ビザおよび永住権は、**雇用者が申請**
- 取得プロセスが複雑なため、弁護士を雇うのが一般的
 - 弁護士費用（高い！）も**雇用者が負担**

4. 労働ビザの申請は、**営利団体**と**非営利団体**で、**取扱が異なる**

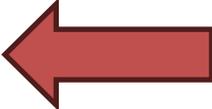
- 労働ビザが取得しやすいのは、**非営利団体**
- 永住権も**非営利団体**を通じた方が**楽**

(参照) 米国国土安全保障省

<https://www.uscis.gov/working-united-states/working-us>

米国での就職活動

■ 以下の条件で仕事を探すことに

✓ **職種：データ分析関連（譲れない条件）** 

- 他の分野だと、労働資格が得られない

✓ **業種：非営利団体**

- 当時、営利企業に就職した友人が労働ビザを取れずに苦勞していた

✓ **給料：こだわらなかつた**

- 生活できればOK

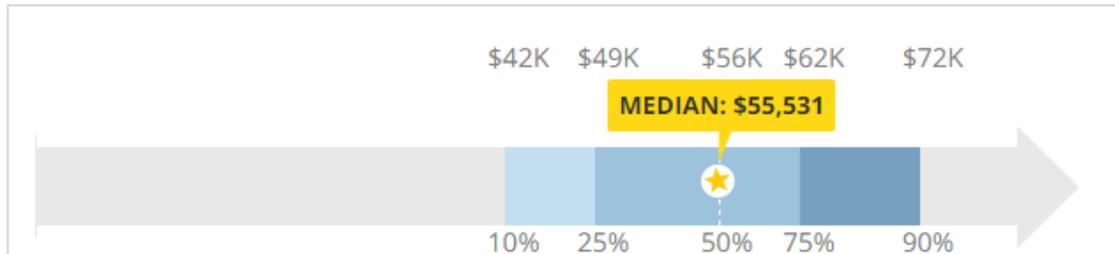
✓ **場所：絶対に田舎！** 

- 可能であれば5万人以下
- **治安重視（譲れない条件）**

【2017年データ】給料・生活費について

Entry-Level Data Analyst in Minneapolis, Minnesota Salary

An Entry-Level Data Analyst in Minneapolis, Minnesota earns an average salary of **\$54,230** per year.



Add this chart to your site: [640px](#) [300px](#)

city

experience

job

Personalized Salary Report »

Show Hourly Rate

	Local Salary Data (?)	\$0	\$24K	\$48K	\$72K
Salary	\$42,192 - \$71,882				
Bonus	\$1,163 - \$8,243				
Total Pay (?)	\$39,594 - \$71,852				

Country: United States | Currency: USD | Updated: 5 May 2017 | Individuals Reporting: 62

初任給で600万位は
貰える感じ？

ミネソタの田舎だと
必要な生活費は
360万位

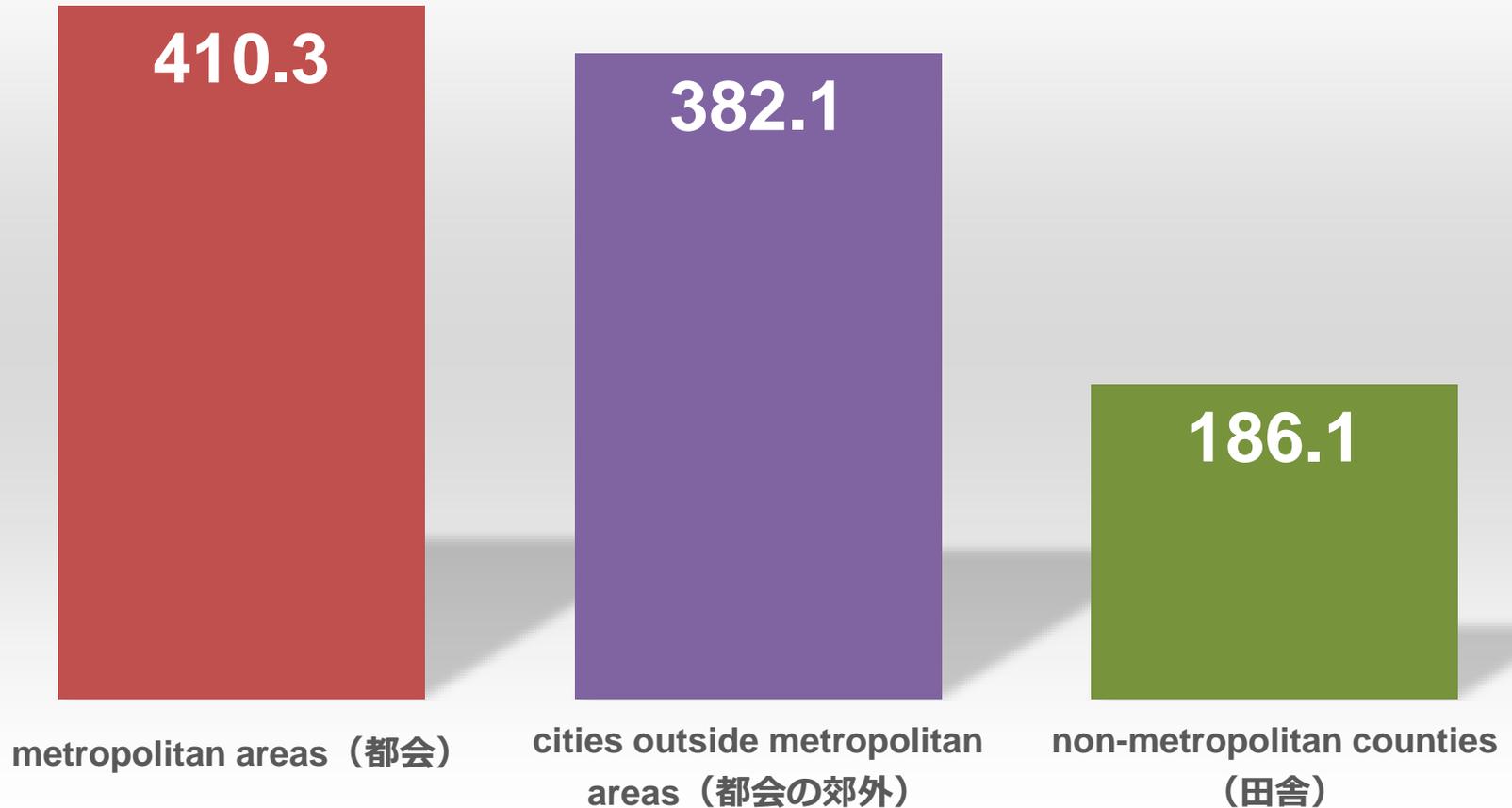
何とかかなりそう！

[生活費データへのリンク](#)
(Cost of Living in Minnesota)
→ ミネソタ州政府のデータ

注意：
僕の就活時よりも
10年位前のデータです

田舎は治安が良い？

Violent Crime Rate per 100,000



(参照) Federal Bureau of Investigation, Crime in the United States, 2011

就職希望先の選定

■ 条件

1. 田舎（できれば人口3万人前後）
2. 非営利団体
3. データ分析関連の仕事

働く上で
大切にしたこと

■ デメリットも一応考慮

- a. 非営利より営利団体の方が高待遇
- b. 田舎より都会の方が
就職先の選択肢が多い

こちらの方が大事

大学または研究機関に就職しよう！



転職活動

■ IR担当者という職業を知る

- 面白そう！ & 自分にあっていそう！
- しかし、転職に必要な「IR担当者」として勤務経験が無い
- フロリダ州立大学大学院の「IR履修証明プログラム」を働きながら受講（リスキリング & 学び直し）
- 転職成功！

雑談：選考プロセス

1. 書類審査

2. 面接（面接官6人 vs. 僕）

a. 事前課題に基づいたプレゼンテーション発表（45分）

- ・ 課題：公開データから予測するベミジ州立大学の10年後

b. インタビュー（45分）

3. キャンパスツアー

a. ディレクターが案内（45分）

- インタビューに関する旅費は先方持ち（日本の大学と違う！）









ここでは書けないので、口頭で

二つの視点：米国生活で分かった日本の姿

■ 日本の大学

- 高等教育を母国語「だけ」で学べる数少ない国
- 大学にいるのは「ほぼ」日本人だけ
- 留学生に一定レベルの日本語を求める
- 英語を実践レベルで使える人を増やす必要

■ 米国の大学

- 高等教育を母国語「だけ」で学べる数少ない国
- 学生、教員、職員が様々な国から集まっている
- ↑ その理由は分かりますか？
- 留学生に一定レベルの英語を求める

これからの日本：2050年を考えよう！

- 人口減少の加速
- （もしかすると）円安も加速
- 国内企業におけるグローバル化の加速
- 海外企業の日本展開



**コミュニケーションツールとしての
英語の重要性**

最後に：品がある大人になろう！

- 以下のシチュエーションで、
みなさんはどう行動・反応していますか？

- ・ 手動ドアを開ける時
- ・ 乗り物（例：バス、新幹線、飛行機等）を降りる時
- ・ 車を運転していて、横断歩道で人が待っていた時
- ・ 人に親切にしてもらった時
- ・ 人にぶつかられた時

米国では、このような場合における行動によって
「品のある人」「品のない人」と判断されることが多いです

ありがとうございました！
